

【件名】

区民活動センターにおける区民向けフリーWi-Fiの整備について

【要旨】

中野区基本計画に掲げる「誰もが快適に利用できる区民活動センターの環境整備」に向けた取り組みとして、区民活動センターへの区民向けフリーWi-Fiの整備を進める。

このことについて以下のとおり報告する。

1 整備の背景

中野区基本計画（令和3年9月）では、施策5「地域の自主的な活動の推進と環境づくり」における主な取組として、「誰もが快適に利用できる区民活動センターの環境整備」を掲げ、Wi-Fi環境の整備拡充の検討を進めてきた。また、第2次中野区地域情報化推進計画改定版（令和6年2月）では、「区有施設の区民向けオンライン環境の整備」の取組として、区有施設におけるオンライン環境の拡充を掲げた。

区民活動センターについては、地域活動の場とともに災害時の地域本部として、地域における拠点性をハード・ソフト両面において強化していく必要があり、その手段のひとつとして、区民向けフリーWi-Fiの整備を進めていく。

2 整備の目的

区民活動センターの拠点性を高め、次の機能の拡充を図るため、区民向けフリーWi-Fiを整備する。

- (1) 集会室等における地域活動の活性化、活動内容の充実
- (2) 区民活動センターにおける居場所機能の充実、情報発信・取得機能の強化
- (3) 非常災害時の通信環境の確保

3 整備の視点

区民向けフリーWi-Fiの整備は、以下の視点に基づいて進めるものとする。

(1) 施設内全域をカバーする安定的な通信環境

区民活動センター内に回線を引き込む常設型のフリーWi-Fiとし、一定数のアクセスにも対応できる安定的な通信環境を整備する。また、施設内のどこでもアクセスできるよう、複数のアクセスポイントの設置し、移動しても途切れないようシームレスな環境とする。

(2) 適切なセキュリティ対策

東京都が推奨する「OpenRoaming」に対応したWi-Fiを採用し、安全性の脆弱さが危惧される公衆フリーWi-Fiにおいても、よりセキュアな利用環境を確保する。

※ 「OpenRoaming」とは、公衆Wi-Fiサービス関連事業者の業界団体であるWireless Broadband Alliance (WBA) による国際的なWi-Fi相互接続基盤のことを指し、OpenRoamingに対応したWi-Fiは、無線通信区間を暗号化するとともに、対応アクセスポイントに自動接続する仕組みとなっているため、盗聴される危険や、なりすましのアクセスポイントに誘導されるなどの危険が防止される。

(3) 災害時にも使用可能な設計

災害時には、「00000JAPAN」のネットワークを開放し、認証不要でWi-Fiに接続できる環境とする。

※ 「00000JAPAN」とは、災害時に無料開放する公衆無線LANサービスで、パスワードやメールの認証なしですぐに接続することが可能となる。

4 対象の施設及びエリア

区民活動センター（全15か所※）のロビー及び集会室等

※ 区民活動センター全15か所のうち、今後建て替えが予定されている、昭和区民活動センター（令和9年8月開設予定）及び鍋横区民活動センター（令和10年度開設予定）については、建築工事完了後、開設までに整備を行う。

なお、フリーWi-Fiが整備されるまでの間は、ポケットWi-Fiの貸出を継続する。

5 整備スケジュール

令和7年 4～6月

事業者選定、各施設の事前調査

7～9月

整備工事

※ 施設ごとに数日間程度、集会室等の貸出を制限する予定。

10月～

運用開始

※ 以降、対象施設（13か所）においては、現在貸出をしているポケットWi-Fiの活用を廃止する。